

令和4年度
社会福祉法人大田原市社会福祉協議会
事業報告書

経営理念

**ともに生きる豊かな地域社会の実現を目指す
～「人の力」「地域の力」「つながりの力」を活かす社協～**

目次

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業	2
1 安心生活見守り事業	2
(1) 安心生活見守り事業	2
2 生活支援体制整備事業（ささえ愛おたわら助け合い事業）	10
3 地域福祉活動計画の推進	15
(1)第3次地域福祉活動計画推進事業	15
(2)第4次地域福祉活動計画策定事業	15
4 小地域福祉活動	16
(1)小地域福祉活動計画の推進	16
(2)福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業	16
(3)地区社会福祉協議会活動支援事業	17
5 ボランティア活動の推進	19
(1)ボランティアセンター事業	19
(2)災害にも強い地域づくり事業の推進	21
6 福祉教育（ふくし共育）推進事業	21
(1)福祉教育（ふくし共育）推進事業	21
(2)広報充実事業	24
(3)社会福祉士養成課程実習生の受入れ	24
II 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業	24
1 総合相談事業の実施	24
(1)生活困窮者自立支援事業	24
(2)心配ごと相談事業	25
(3)福祉金庫貸付事業	26
(4)生活福祉資金貸付事業	26
2 日常生活自立支援事業	29
(1)日常生活自立支援事業（あすてらす）	29
III 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～	29
1 介護保険サービス	29
(1)訪問介護事業	29
(2)受託訪問介護事業の推進	29
2 障害福祉サービス	30
(1)障害福祉サービス事業	30
3 その他のサービス	30
(1)日常生活用具貸与事業	30
(2)リフト付き自動車貸出事業	31
(3)軽トラック貸出事業	31
(4)福祉サービス適正化事業	31
(5)大田原市介護支援ボランティアポイント制度	31
IV 法人の基盤強化事業	32
1 福祉のまちづくり市民参加運営事業	32
(1)理事会・評議員会の開催	32
(2)会員加入の推進	36
2 社会福祉法人連絡会	36
(1)社会福祉法人連絡会の主な活動内容	36
(2)社会福祉法人連絡会の参加法人	37
3 基金・寄付事業	37
(1)善意銀行運営事業	37

(2) 大田原市社会福祉協議会寄附	39
(3) 地域福祉基金造成事業	40
(4) 赤い羽根共同募金事業	41
4 その他	42
(1) 被表彰者について	42

令和4年度 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会 事業報告書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

令和4年度、大田原市社会福祉協議会は、下記の5つの事業に重点を置き、関係機関や団体と密接に連携・協働を図りながら、各種事業に取り組みました。

平成30年度に大田原市の地域福祉計画と一体的に第3次地域福祉活動計画を策定し、「市民参加の地域福祉推進」を目的として、地域との連携のもと計画の推進に取り組んでいます。

自分たちの住んでいる地域の良いところや課題などを話し合い、みんなで協力しながら「支え合いの地域づくり」(互助・共助)を進めるため、地区社会福祉協議会の計画である「小地域福祉活動計画」の推進を支援しています。

次代を担う児童・生徒に福祉について学んでもらうため、教育関係者、地域福祉活動関係者、障がい当事者、福祉事業者等、多様な機関と連携し、福祉教育副読本「ともに生きる」について、多様性をテーマに第7回改訂版の作成を行いました。

市から「生活困窮者自立支援事業」を受託し、法律や制度では解決が困難な問題を抱えた方の相談を受け、それぞれの相談者に寄り添い、必要な支援を行いました。

要介護者等が良質で総合的なサービスを受けられるよう、保険、医療、福祉サービスと綿密な連携を図りながら、黒羽、湯津上の山間部を中心に訪問介護事業を行いました。

他の取り組みとしては、「安心生活見守り事業」で地域ぐるみの見守り活動、「生活支援体制整備事業(ささえ愛おおたわら助け合い事業)」、福祉委員による小地域ネットワーク活動、日常生活自立支援事業、ボランティア活動の推進、共同募金運動、障害福祉サービスなどを実施しました。

=令和4年度重点事業=

- (1) 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進
- (2) 地区社会福祉協議会の支援
- (3) 福祉教育(ふくし共育)の推進
- (4) 生活困窮者自立支援事業の充実
- (5) 介護事業のサービス向上

事業実施状況

I 地域福祉の推進・発展のための人づくり、地域づくり事業

1 安心生活見守り事業

(1) 安心生活見守り事業

少子高齢化社会の進展による人口の減少とともに、単身世帯の増加や近隣関係の希薄化など、社会から孤立する人が生じやすい環境となり、従来の見守りや制度からもれる人を社会から孤立させずに支援していく仕組みづくりを行う「安心生活見守り事業」の一部を大田原市から受託しています。平成21年度から地区社会福祉協議会を実施エリアとして、自治会ごとの見守りや生活支援などを、市、地域包括支援センター、警察や消防などの関係機関団体と連携し、事業を実施しています。

本事業は、地域の見守り支援が必要な方の把握、地域ネットワークの形成、情報の共有を行ない、平成26年度には市内12地区での見守り隊（見守りの会）が発足し、全地区で事業を展開してきました。

令和4年度は、「生活支援体制整備事業（ささえ愛おたわら助け合い事業）」や地区社会福祉協議会と連携して、住民主体の地域福祉を推進し、地域の課題解決力を高めるため内容の充実を図っています。昔ながらのご近所づきあいに加え、見守り活動を通じた地域のつながりづくりが行われています。

コロナ禍で、訪問での見守りに代わり外からの見守りや電話での安否確認など、利用者が孤立しないように工夫をしながら活動をしています。

・見守り隊員数 2,468人

・見守り件数 79,245件
〈内訳〉 (件)

・利用者数	1,344人
〈内訳〉	(人)
ひとり暮らし	750
高齢者世帯	228
日中ひとり	224
日中高齢者世帯	72
その他	70

1 声掛け安否確認	27,929
2 買い物支援	541
3 緊急時の通報	28
4 簡単な修繕	147
5 ゴミだし	795
6 役所の手続き	228
7 外からの見守り	45,625
8 外出手伝い	330
9 家事手伝い	622
10 その他	3,000

① 各地区の状況

i) 黒羽見守り助け合い隊

隊の概要

発足式年月日	平成22年3月16日
自治会数	12自治会
見守り利用者数	99人
隊員数	93人

令和4年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
6月14日		第1回隊長会議（活動報告、活動計画）	30人
6月14日	書面開催	第1回推進会議（活動報告、活動計画）	—
3月14日		第2回隊長会議（活動報告、活動計画）	20人
3月14日		合同研修会「認知症サポーター養成講座」	30人
毎月		助け合い隊便りの発行・配布	

※助け合い隊だよりの発行・配付（利用者、隊員、関係機関）・班回覧（年12回）

ii) 佐久山おもいやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成23年2月8日
自治会数	17自治会
見守り利用者数	143人
隊員数	122人

令和4年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
5月22日		第1回 推進会議 28名 岩井町、桜町、上町、仲町、下町、荒町、新町、松原	28人
5月30日		第1回 推進会議 21名 大沢、平山、佐南、藤沢、琵琶池	21人
6月1日		第1回 推進会議 31名 大神、大神南部、福原、福原南部	31人
7月15日		第1回 隊長会議（見守り事業について）	35人
12月14日		おもいやりの会 4自治会 岩井町、桜町、大沢、佐南	20人
3月27日		新旧隊長会議（活動報告、活動計画、引き継ぎについて）	31人

※おもいやり隊だより（兼地区社協だより）の発行・班回覧（年1回）

iii) 紫塚地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成23年7月24日
自治会数	7自治会
見守り利用者数	82人
隊員数	64人

令和4年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月28日	新旧隊長会議（活動報告、活動計画）	17人
5月10日	大高SSH活動協力（研究成果の「熱中症リーフレット」を受領、隊員を通して利用者に配付）	—
5月26日	推進会議（活動報告、活動計画）	45人
6月18日	沼の袋支え合いマップづくり(第2回目)	14人
7月16日	沼の袋支え合いマップづくり(第3回目)	14人
7月22日	大高SSH活動協力（高齢者の服薬アンケート用紙を受領、隊員を通して利用者へのアンケートを実施）	—
10月28日	紫塚小学校ウォークラリーに協力	—
11月18日	栄町をモデルにDIG（災害図上訓練）を体験	6人
12月8日	隊員研修会（救急法講習）	31人
2月上旬	利用者と隊員とのふれあい活動として、粗品とメッセージを隊員を通して配付	—
2月24日	チーム会議(活動報告・活動計画他) (リーダー会議と合同)	6人
3月24日	隊長会議(活動報告・活動計画他)	16人

※見守り隊だより（兼協議体だより）の発行・全戸配付（年6回）

iv) ちかその思いやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成24年11月30日
自治会数	10自治会
見守り利用者数	105人
隊員数	120人

令和4年度事業経過

月 日	事業内容	参加人数
4月5日	資料配布 推進会議（活動報告、活動計画）	—
4月18日	第1回 チーム会議	8人

5月9日		第1回 隊長会議（事業について）	23人
5月27日		認知症学習講座（参加型寸劇付）	30人
7月6日		民生委員との情報交換会	10人
8月26日		第2回チーム会議	11人
9月14日		第2回 隊長会議（事業について）	19人
10月25日		事業「プチっと交流お出かけ買い物」	32人
1月24日		見守り隊 PR 活動「ポスター」を地域協力機関へ配付	(24件)
2月8日		第3回 チーム会議	5人
3月22日		新旧隊長会議（隊長引継ぎ等）	30人

※思いやり隊だよりの発行・全戸配付（年4回）

v) 西部地区あったか思いやりの会

会の概要

発足式年月日	平成25年2月4日
自治会数	8自治会
見守り利用者数	187人
会員数	117人

令和4年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
4月21日		チーム会議（令和4年度事業原案検討）	8人
4月21日		地区会長会議（令和4年度事業決定）	13人
5月12日	書面開催	推進会議	119人
1月1日		あったか思いやりの会便りNo.10全世帯配付	—
3月17日		チーム会議（令和5年度事業原案検討）	9人
3月17日		地区会長会議（令和5年度事業決定）	11人

※おもいやりの会だよりの発行・全戸配付（年1回）

vi) 須賀川地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年10月29日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	93人
隊員数	101人

令和4年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
5月17日		第1回隊長会議(推進会議、地区活動助成金、見守り組織の確認)	13名

5月17日		推進会議（委嘱状交付、前年度決算・事業報告、今年度事業計画・予算）	36人
7月27日		第2回隊長会議（各地区見守り状況報告、情報交換・市担当者デマンド交通概要説明）	24名
11月28日		「特殊詐欺等被害防止対策」講習会（大田原警察署生活安全課）	25名
11月～12月		デマンド交通体験買い物ツアー（4班編成、第4班はコロナの影響により中止）	28名
3月15日		第3回隊長会議（今年度活動実績・決算見込み、次年度事業計画・予算案、引継）	20名

※見守り隊だより（兼協議体だより）の発行・班回覧（年6回）

vii) ゆづかみ見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年11月8日
自治会数	13自治会
見守り利用者数	97人
隊員数	224人

令和4年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
4月22日		第1回チーム会議（役員改選、事業報告及び決算報告、事業計画・収支予算）	4人
5月13日		第1回隊長会議（委嘱状交付、本隊役員、事業報告、事業計画、見守り活動記録、地区隊の活動助成金）	16人
7月29日	書面開催	第2回隊長会議（今後の予定について）	—
9月25日		天狗王国まつり（ゆづかみ見守り隊PR）	—
3月6日		第3回隊長会議（見守り状況、事業報告、事業計画、隊員名簿等）	14人
4月12日～ 3月28日		「言ノ葉喫茶」毎週火曜日開催（26回）	延べ376人

viii) 東部地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成25年11月19日
自治会数	26自治会
見守り利用者数	105人
隊員数	584人

令和4年度事業経過

月 日	事 業 内 容	参加人数
5月17日	第1回チーム会議（令和4年度事業計画、予算案等の協議）	9人
5月26日	第1回隊長会議（役員改選、事業報告、事業計画、見守り事業並びに生活支援体制整備事業の推進等）	34人
7月21日	推進会議（委嘱状の交付等）、地域の通いの場づくりに関する事例発表会	47人
9月2日	第2回チーム会議（見守り活動の状況と新たな利用希望者の検討）	8人
9月22日	第2回隊長会議（見守り活動の状況と各地区の見守り利用希望者の検討）	34人
11月18日	認知症サポーター養成講座	26人
1月26日	第3回チーム会議（本年度の事業報告、次年度事業計画についての協議）	8人
2月22日	第3回隊長会議（本年度の事業報告、見守り活動の状況、各地区隊の情報交換、各種報告書類等）	25人

※見守り隊だよりの発行・全戸配布（年1回）

ix) 両郷地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成26年6月25日
自治会数	11自治会（9地区隊）
見守り利用者数	88人
隊員数	167人

令和4年度事業経過

月 日	事 業 内 容	参加人数
5月24日	隊長会議（駐在所講話、隊員証・委任状交付、実績報告、令和4年度予算・計画、見守り活動の確認、活動費配布）	26人
10月18日	隊員研修会（認知症サポーター養成講座）	17人
3月16日	隊長会議（令和4年度実績、決算見込み、令和5年度事業計画、予算、買い物ツアー、見守り活動実績表配布他）	31人
4月～3月	居場所設置（全10回）	—

※見守り隊だよりの発行（兼協議体だよりの発行）・全戸配付（年6回）

x) 川西地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成26年11月19日
自治会数	14自治会(17地区隊)
見守り利用者数	122人
隊員数	258人

令和4年度事業経過

月 日	事 業 内 容	参加人数
年間	安心生活見守り事業、生活支援体制整備事業説明会(5回)	—
4月29日	篠原カフェ(若い世代による臥龍の藤ライトアップ)	8人
6月5日	寒井南部カフェ(ポピー畑で茶話会)	18人
6月24日	隊長会議(川西地区見守り隊の取り組み、協議体)	31人
8月25日	桧木沢カフェ(特殊詐欺防止講話)	17人
11月25日	チーム会議(川西地区協議体について、勉強会)	12人
12月4日	寒井北部カフェ(特殊詐欺防止講話、コンサート、PR活動)	51人
12月18日	桧木沢ふれあい直売所 ふれあい祭り(自主財源確保)	—
1月22日	黒羽大花市(PR・自主財源確保)	—
2月12日	桧木沢カフェ	18人
3月18日	ひのきざわよつばカフェ	27人
3月7日 ~9日	移動カフェ「おひさま」薬剤師認知症予防講座(回想法教室)	48人
3月13日	隊長会議(令和5年度の活動について)	25人
4月~3月	おやまだいおひさまカフェ(24回)	525人
7月、10月、11月	小規模多機能型居宅介護事業所かをる hana サロン3回(寒井本郷カフェ)	28人
11月~3月	移動カフェ「おひさま」(10回)	47人
その他集いの場	築地カフェ、上町PPKKの会、上町たんぽぽ会、下町2区カフェ、桧木沢サイプレス地区カフェ、大豆田カフェ、余瀬カフェ、上町より愛ひろば、ジャガイモ仲間の会、わらぼっち多賀	—

※見守り隊だよりの発行・配付(利用者、隊員、関係機関)・班回覧(年12回)

xi) 金田地区おもいやり隊

隊の概要

発足式年月日	平成26年 11月28日
自治会数	26自治会 (32地区隊)
見守り利用者数	113人
隊員数	378人

令和4年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
4月14日		おもいやり隊チーム会議	9人
4月19日		おもいやり隊新隊長会議	43人
5月24日		おもいやり隊推進会議 研修会「高齢者の消費者トラブルを地域で防ぐ」	51人
8月から9月		おもいやり隊・地区社協・協議体打合せ	8人
10月21日	書面開催	隊長会議	—
10月21日		認知症サポーター養成講座 (金田南地区)	31人
10月28日		認知症サポーター養成講座 (金田北地区)	31人
3月8日		おもいやり隊チーム会議	10人
3月16日		おもいやり隊隊長会議	33人

※おもいやり隊だよりの発行・全戸配付 (年3回)

xii) 野崎地区見守り隊

隊の概要

発足式年月日	平成27年2月19日
自治会数	11自治会
見守り利用者数	110人
隊員数	240人

令和4年度事業経過

月 日		事業内容	参加人数
5月19日		チーム&隊長会議 (事業計画説明、他)	20人
7月28日		チーム&隊長会議 (コロナ禍での今後の取組み)	17人
10月17日		群馬県桂萱地区社協研修受入 (安心生活見守り事業)	28名
11月30日		チーム&隊長会議 (事業報告、他)	19人
1月26日	書面開催	チーム隊長会議書面開催 (新年度計画、他)	—

4月～3月		個別訪問（見守り利用者、隊員、他）	152世帯
4月～3月		相談対応（見守り利用者、隊員、他）	19件
4月～7月		居場所活動（野崎 NT・上薄葉・薄葉団地、他）	146名
10月～12月		居場所活動（野崎 NT・上薄葉・薄葉団地、他）	114名
8月～9月 1月～3月		※ コロナ感染拡大防止のため開催自粛	—

※見守り隊だよりの発行・全戸配付（年2回）

② 安心生活見守り事業 会議等

月 日	内 容	会 場
2月13日	安心生活見守り事業推進会議	市役所101、102会議室

○救急医療情報キットの普及支援

大田原市が平成24年10月から配布している「救急医療情報キット」に関し、市社協では令和2年度に市高齢者幸福課と覚書を交わし、市社協窓口での申請受付並びに、各地区の民生委員や見守り隊員（会員）と協力して、見守り利用者に対し救急医療情報キットの説明、申請代行、配布を行ないました。

令和4年度配布本数 54本

2 生活支援体制整備事業（ささえ愛おおたわら助け合い事業）

市からの受託事業である「ささえ愛おおたわら助け合い事業（生活支援体制整備事業）」は、第2層コーディネーターの配置と、支え合いの地域づくりを進める協議体の取り組みを行っています。

安心生活見守り事業の地区担当主任が第2層生活支援コーディネーターとして委嘱され、12地区ごとに第2層協議体を設置し、運営の支援を行っています。コロナ禍の中で令和4年度は、開催ができなかった会議もありましたが、協議体だよりの発行、安心生活見守り事業の活動や地区社協などの、多様な主体と連携して進められるよう地域の実情に合わせた支え合いの地域づくりのための話し合いを進めています。

○各地区の状況

①東部地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
6月16日	第1回	ささえ愛サロン「東部氣樂会」、事例発表会計画検討、グループ協議	25人

9月2日	第2回 (中止)	生活支援体制整備事業啓発パンフレット内容検討、東部地区社協事業案検討の予定	—
11月10日	第3回	生活支援体制整備事業啓発パンフレット内容検討、東部地区社協事業案検討	22人
3月9日	第4回	本年度事業のまとめ、小地域福祉活動計画推進状況確認シート集計結果の考察	20人

※「ささえ愛の地域づくり」リーフレット（通いの場）作成・全戸配布

※協議体だより発行・班回覧（年1回）

②西部地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
5月31日	第1回	策定した計画について、今年度の進め方について	29人
5月20日	第2回	グループ討議（3グループ）	28人
11月7日	第3回	全体会議（前回討議の情報共有）、第2回グループ討議（事業の検討）	27人
1月23日	第4回	グループ討議（事業の決定）、全体会議（3グループの取り組み内容の発表と情報の共有）	24人

③紫塚地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
5月13日	第1回	(全体)組織変更 令和3年度取り組み結果 今後の進め方	22人
7月22日	第2回	グループワーク(各グループで具体的な目標の設定)	21人
8月25日		機会づくりグループで築地カフェ視察	7人
9月16日	第3回	グループワーク(各グループの具体目標の取り組み検討)	21人
11月18日	第4回	(全体)各グループ進捗状況確認 グループワーク	20人
1月20日	第5回	グループワーク(各グループの具体目標の取り組み検討)	20人
2月24日	リーダー会議	検討事項の実施に向けた流れの検討	6人
3月25日	第6回	(全体)各グループリーダー報告 グループワーク、小地域福祉活動計画推進状況確認シート集計結果報告	21人

※リーダー会議は見守り隊チーム会議と合同開催

※「ささえ愛の地域づくり」リーフレット作成・全戸配布

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・全戸配付（年6回）

④金田地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
6月27日	第1回	令和4年度協議体の進め方、情報交換	29人
8月29日	延期	具体的な活動のための話し合い	—
11月29日	第2回	ふりかえり、具体的な活動のための話し合い (グループワーク、全体で共有)	23人
2月9日	第3回	ふりかえり、具体的な活動のための話し合い (グループワーク、全体で共有)	22人

※協議体だより発行・全戸配付（年1回）

⑤親園地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
6月24日	第1回	地域課題と対応策の検討	11人
8月26日	第2回	地域課題と対応策の検討	11人
10月28日	第3回	地域課題と対応策の検討	12人
12月23日	第4回	地域課題と対応策の検討、小地域福祉活動計画 推進状況確認シート依頼	11人
2月24日	第5回	小地域福祉活動計画推進状況確認シート集計結果 に基づく話し合い	12人

※協議体だより発行・全戸配付（年2回）

⑥野崎地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
5月19日	第19回	協議体会議（具合的活動に関する話し合い）	29名
6月18日		『一声・声かけ』運動に関する話し合い（第3 Gr）	7名
7月28日	第20回	協議体会議（具合的活動に関する話し合い）	26名
9月29日	第21回	協議体会議（具合的活動に関する話し合い）	31名
11月30日	第22回	協議体会議（具合的活動に関する話し合い）	28名
1月26日	資料配布	第23回協議体会議（順延 コロナ対応） 小地域福祉活動計画推進状況確認シート集計結果等	—

※協議体だより発行・全戸配付（年2回）

⑦佐久山地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
4月22日	視察研修	那須町旧朝日小学校、旧川西中学校視察	6人
5月18日	第1回	現状把握と課題抽出、人づくり：ボランティア 確保のための施策について	26人

8月25日	中止	対応策と検討（中止）	—
11月16日	第2回	対応策と検討 人づくり：ボランティア確保のための施策についてグループワーク	26名
11月25日	視察研修	長野県松本市梓川地区社協 7名 2名欠席	5人
3月15日	第3回	対応策と検討 人づくり：ボランティア確保のための施策についてグループワーク、小地域福祉活動計画推進状況確認シート集計結果報告	21人

※コロナ感染予防のため8月中止

⑧湯津上地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
10月24日	第1回	後継者育成・知恵袋バンク冊子の活用について各委員の日頃から思っている「課題」について	12人
11月8日	書面配布	コロナ禍での次回開催が危ぶまれるので、委員各位に地域の「課題」等への検討を依頼	—
3月16日	第2回	後継者育成・居場所づくり・地域資源の活用（知恵袋バンク）・地域の課題について	14人

※5月・7月・9月コロナの影響により中止

⑨黒羽地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
7月25日	第1回	黒羽地区の課題解決、地域の行事協力	16人
10月25日	第2回	小地域福祉活動計画の進捗状況の確認	13人
3月14日	研修	合同研修会「認知症サポーター養成講座」	10人
3月20日	研修	5地区協議体視察研修「高崎市佐野地区第2層協議体会議」	2人
3月23日	第3回	小地域福祉活動計画推進状況確認シート集計結果報告	14人

⑩川西地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
4月22日	第1回	地域の課題	7人
5月27日	第2回	地域の課題、小地域福祉活動計画	16人
6月24日	第3回	川西地区見守り隊活動、協議体、小地域福祉活動計画	31人
7月22日	研修	地域で暮らす障害者と障害福祉サービスについて	14人
9月30日	第4回	小地域福祉活動計画、築地カフェ代表の研修・カフェ報告	13人

10月28日	研修	生活支援コーディネーターと協議体に期待される機能と役割	24人
1月19日	第5回	福祉委員との情報交換	7人
3月20日	研修	5地区協議体視察研修「高崎市佐野地区第2層協議体会議」	2人
3月24日	第6回	川西地区協議体運営要綱の制定と位置づけ、情報交換	19人

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・利用者、隊員配付、班回覧、他（年12回）

⑪両郷地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
6月29日	第1回	自己紹介、協議体、小地域計画説明、近況報告	10人
12月5日	第2回	小地域計画の進め方、買い物ツアー	10人
2月20日	第3回	小地域計画の進め方、買い物ツアー他	10人
3月20日	研修	5地区協議体視察研修「高崎市佐野地区第2層協議体会議」	2人

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・全戸配布、他（年6回）

⑫須賀川地区協議体

月 日		主な内容	参加人数
6月8日	第1回	地区福祉活動報告、今後の活動推進、見守り事業への協力	17名
9月27日	第2回	デマンド体験買い物ツアー協力・研修会協力	14名
3月15日	第3回	小地域福祉活動計画推進状況確認シート集計結果報告・地区課題解決の検討	15名
3月20日	研修	5地区協議体視察研修「高崎市佐野地区第2層協議体会議」	2人

※見守り隊だより（兼協議体だより）発行・班回覧、他（年6回）

○地区交流拠点の検討・実施

交流拠点活動では、地区公民館やほほえみセンター等に生活支援コーディネーター（SC）が出向き、地域の皆さんの相談ごとや、地域で気になること、地域で活躍している人など、地域の皆さんの声をきいて情報を集め、地域の困りごとを、地域の人材や、良いところを生かして解決できるようにつないだり、内容によって、行政、市社協、地域包括支援センター等、専門機関につないだりします。

①野崎地区 市・市社協・SC・地区との協議、検討後、12月から実施、地区内での周知活動

②須賀川地区 市・市社協・SC・地区との協議、検討の結果、令和5年4月

から実施予定

3 地域福祉活動計画の推進

(1)第3次地域福祉活動計画推進事業

大田原市とともに進めている第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和元年度～令和5年度）の4年目の取り組みとして、次のとおり実施しました。

① 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会の開催

日 時： 令和5年2月16日（木）午後1時30分～3時05分

場 所： 市役所南別館 2階

参加者： 推進委員 23名

- 内 容：
- ・委員長、副委員長の選任
 - ・講話 「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」
～「推進委員会」と「策定委員会」の役割・機能～
国際医療福祉大学教授 林 和美 氏
 - ・第3次計画に対する取り組み状況調査の結果について
 - ・地域福祉に関するアンケート調査の結果について
 - ・住民懇談会の結果について
 - ・策定経過について

(2)第4次地域福祉活動計画策定事業

大田原市とともに進めている第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和6年度～令和10年度）の策定準備として、次のとおり実施しました。

① 地域福祉に関するアンケート調査の実施

実 施 時 期 令和4年7月～8月

対象及び回答数 市民1, 200名を無作為抽出、回答者523名、
回収率43.6%

② 住民懇談会の実施

地域福祉の現状を把握するとともに、第4次計画策定の基礎資料とするため、「高齢者」「障害児・者」「子ども」「健康」「地域」の5つのテーマごとにグループで課題を挙げて、解決策についてアイデアを出し合いました。

地 区	東部・西部・紫塚・金田・親園・野崎・佐久山	湯津上・黒羽・川西・両郷・須賀川
日 時	1月12日（木） 午後2時～4時30分	1月13日（金） 午後2時～4時30分
場 所	大田原市生涯学習センター	黒羽・川西地区公民館
参加者	43名	33名
	地区社協（5名ずつ）・法人連絡会・生活支援コーディネーター	

③ 第4次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会の開催

日時： 令和5年2月27日（月）午後1時30分～3時05分

場所： 市役所南別館 2階

参加者： 策定委員 26名

内容： ・委員長、副委員長の選任
・講話 「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」
～「推進委員会」と「策定委員会」の役割・機能～
国際医療福祉大学教授 林 和美 氏
・第3次計画に対する取り組み状況調査の結果について
・地域福祉に関するアンケート調査の結果について
・住民懇談会の結果について
・策定経過について

4 小地域福祉活動

(1) 小地域福祉活動計画の推進

平成30年度～令和3年度に12地区社協で策定した小地域福祉活動計画の推進を支援しました。

また、推進期間が2年以上の8地区について、地区ごとに小地域福祉活動計画の推進状況を見えるようにし、工夫点や改善点を活動に生かすため、推進状況確認のアンケートを実施し、集計結果を第2層協議体で報告しました。

実施地区 東部・紫塚・親園・野崎・佐久山・湯津上・黒羽・須賀川地区

(2) 福祉委員（小地域福祉ネットワーク）活動推進事業

福祉委員は、各自治会長の推薦により170名が活動を行ないました。

小地域福祉ネットワーク活動の推進役として、福祉委員は民生委員・児童委員をはじめ、隣近所やボランティアなどの協力を得ながら、見守り対象者を把握し、高齢者等に対する見守り活動や地区社協の食事サービス活動支援等を行ないました。

① 「自治会ささえあいカルテ」の作成

令和4年度は47枚の提出がありました。

② 福祉委員・民生委員合同研修会の開催

地域福祉の推進役である福祉委員と身近な相談役である民生委員児童委員が、今の地域福祉課題にふれ、コロナの状況下でも気にかけて、つながりあえる地域づくりのきっかけとなるように開催しました。

日 時

地 区	期 日	会 場	参 加 者	
			福祉委員	民生委員
湯津上地区	5月18日(水)	湯津上庁舎	7人	12人
親園地区・佐久山地区	6月10日(金)	佐久山地区公民館	10人	11人
西部地区・紫塚地区	6月20日(月)	大田原西地区公民館	6人	23人
東部地区	6月24日(金)	大田原東地区公民館	16人	13人
川西地区・両郷地区	6月27日(月)	黒羽川西地区公民館	14人	15人
黒羽地区・須賀川地区	6月27日(月)	黒羽川西地区公民館	11人	14人
金田地区・野崎地区	6月30日(木)	大田原西地区公民館	19人	12人

内 容：説明「小さなささえあい活動に目を向けよう！」

情報交換（グループでの話し合い）

○ささえあいネット通信を9月と3月に発行し、福祉委員、自治会長、民生委員に配布しました。

(3)地区社会福祉協議会活動支援事業

地区社会福祉協議会が実施する事業活動について、支援を行うとともに、加入普通会員一人当たり250円の活動助成金を交付しました。

各地区社会福祉協議会の主な事業活動は、次のとおりです。

① 活動助成の内容

地区社会福祉協議会（団体名）	助成額	活動内容
大田原東部地区社会福祉協議会	560,670 円	東部地区小地域福祉活動計画の推進 ふれあい広場、食事サービス 「東部社協だより」の発行
大田原西部地区社会福祉協議会	630,650 円	西部地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス（月4回） あったか広場、「あったかだより」の発行 等
紫塚地区社会福祉協議会	279,000 円	紫塚地区小地域福祉活動計画の推進、 ふれあい紫広場、食事サービス、視察 研修、「むらさきづか社協だより」の発行 等

金田地区社会福祉協議会	666,750 円	金田地区小地域福祉活動計画の推進、 食事サービス（月2回）、研修会 等
親園地区社会福祉協議会	212,750 円	親園地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス、「親園福祉だより」の発行
野崎地区社会福祉協議会	398,500 円	野崎地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス 「ふくしのまち野崎」の発行 等
佐久山地区社会福祉協議会	159,250 円	佐久山地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス、「佐久山社協だより」の発行 佐久山地区外出支援事業 佐久山ふくし祭りの開催
湯津上地区社会福祉協議会	243,000 円	湯津上地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス、世代間交流事業 地区社協だより「ゆうあい」の発行、 ふれあい友愛広場
黒羽地区社会福祉協議会	231,250 円	黒羽地区小地域福祉活動計画の推進 食事サービス 「黒羽地区社協だより」の発行 等
川西地区社会福祉協議会	271,750 円	川西地区小地域福祉活動計画の推進、 食事サービス、 買い物ツアー、「川西地区社協だより」 の発行、 ふれあい敬老会の支援
両郷地区社会福祉協議会	126,750 円	両郷地区小地域福祉活動計画の推進、 学校安全パトロール、食事サービス 地区社協だより発行、見守り支援等
須賀川地区社会福祉協議会	113,250 円	須賀川地区小地域福祉活動計画の推 進、生涯学習推進協議会と連携した世 代間交流、食事サービス、視察研修等
合計	3,893,570 円	

※ 令和4年度は新型コロナウイルスのため中止したものもあります。

② 食事サービス事業への支援

各地区社会福祉協議会等が実施している、ひとり暮らし高齢者等を対象とした、「食

事サービス事業」に対して、1食あたり400円の助成を行ないました。配布活動は見守り活動（訪問安否確認）も兼ねています。

No.	助成対象団体	令和4年度実績			前年度
		配食数	対象者数	実施回数	配食数
1	東部地区社会福祉協議会	534	47	12	458
2	西部地区社会福祉協議会	1,952	57	48	804
3	紫塚地区社会福祉協議会	1,887	60	36	1,532
4	金田地区社会福祉協議会	495	24	24	492
5	親園地区社会福祉協議会	365	16	24	343
6	野崎地区社会福祉協議会	294	7	48	297
7	佐久山地区社会福祉協議会	992	43	34	964
8	湯津上地区社会福祉協議会	643	50	12	579
9	黒羽地区社会福祉協議会	566	60	10	571
10	川西地区社会福祉協議会	476	42	6	563
11	両郷地区社会福祉協議会	391	45	10	337
12	須賀川地区社会福祉協議会	211	54	4	216
13	大田原市ボランティア連絡協議会 黒羽支部	517	106	6	543
	合計	9,323	611	274	7,699

令和4年度は新型コロナウイルス感染防止のため、休止したり、調理をせず購入した弁当を買って届けたりしました。物価高騰により、1食あたり50円を一時金として追加交付しました。

(物価高騰分：476,050円)

(助成総額 4,205,250円：共同募金配分より)

5 ボランティア活動の推進

(1) ボランティアセンター事業

① 中高生が考える福祉のまちづくりIN大田原

感受性豊かな中高生が、大田原市の現状や福祉の未来を考え、あらゆる人が安心安全に暮らすことができる福祉のまちづくりの方法などについて学ぶことで、これからの地域を担っていく一人となれるよう、地域の多様な方々に実行委員となっていただき進めました。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、オンラインにてサロンを3回開催しました。

回	日時	テーマ	参加人数
1	6月21日(火) 18:30~20:30	「障がいて何だろう」「普通って何だろう」 ～ほんとうのバリアフリーとは～	14名
2	8月23日(火) 18:30~20:30	みんなが笑顔になる活動 フードバンク活動を知ろう!!	20名
3	12月9日(金) 16:15~17:15	地域・福祉・SDGsにつながる 高校生フードバンク入門	26名

②市ボランティア連絡協議会との連携・協力

市ボランティア連絡協議会が実施する各種福祉活動への連携・協力を行ないました。

③ ボランティア活動保険の加入促進

種別	年間保険料	死亡保険金額	加入者数	前年度加入者数
基本プラン	350円	1,040万円	4,225人	4,129人
天災・地震 補償プラン	500円	1,040万円	106人	131人
特定感染症 重点プラン	550円	1,040万円	49人	
計			4,380人	4,260人

④ ボランティア登録の推進

ボランティア情報紙「だいすき」での情報の提供、県等から送付されるボランティア情報の提供、各福祉施設のボランティア要請情報の提供等を行ないました。ボランティアに関する相談に応じ、ボランティア活動をして欲しい人とボランティアしたい人の橋渡し（ボランティアコーディネート）を行ないました。

区分	団体登録		個人登録	ボランティア相談・コーディネート
	団体数	登録者数		
令和4年度	133団体	4,115名	58名	27件

⑤ ボランティア活動機材の貸与

点字プリンター、点字盤、アイマスク、車いす等を貸与し、ボランティア団体や、小・中学校の「総合的な学習の時間」を活用した福祉教育の支援に努めました。

品目	延べ利用数	品目	延べ利用数
車いす	2台	移動式スクリーン	0脚
アイマスク	0枚	書籍等	0冊
点字盤	15台	その他	
点字プリンター	0台	・ハンドマイク	3本

杖 (T字型)	0 本	・誘導棒	15 本
CDプレイヤー	0 台	・その他	2 件
プロジェクター	0 台		

(2) 災害にも強い地域づくり事業の推進

① 災害ボランティアセンター運営連絡会の開催

災害時に被災者の支援として開設される災害ボランティアセンターが迅速かつ円滑に開設できるように、日頃から関係団体・機関等のつながりづくりを進めるため、平常の活動として開催しました。

実施日 令和4年9月1日(木) 午前10時～11時30分

会場 大田原市役所301会議室

協議内容 (1) 災害ボランティアセンター運営指針の改訂について
(2) 災害ボランティアセンター設置図の再確認

参加団体 民生委員児童委員協議会連合会、ボランティア連絡協議会、那須野ヶ原青年会議所、市(福祉課、危機管理課)、市社会福祉協議会

② 災害ボランティア講座の開催

少子高齢化や人口減少により地域における支え合い機能の低下が叫ばれる中で、災害ボランティアセンターによる支援はどうあるべきなのか、被災地支援の三原則(被災者中心、地元主体、協働)を学び、被災者に寄り添う災害ボランティアを実践するため、本講座を開催しました。

実施日 令和5年2月25日(土) 午前10時～12時

会場 市生涯学習センター研修室D

テーマ 被災者に寄り添う災害ボランティア

講師 OfficeSONOZAKI 園崎 秀治 氏

内容 (1) 大田原市の災害ボランティアについての取り組み
(2) 被災者に寄り添う災害ボランティア

参加者 41名(市民ボランティア、関係機関・団体等)

6 福祉教育(ふくし共育)推進事業

(1) 福祉教育(ふくし共育)推進事業

福祉とは「ふだんのくらしのしあわせのためのもの」であり、自分を含めたみんなにかかわることである。子どもから高齢の方まで、助け合いながら地域でつながりをもって暮らしていけるように、ともに生きる地域を創っていくことを目指し福祉教育(ふくし共育)を推進しました。

① 福祉教育副読本「ともに生きる」の発行

平成29年度に第6回改訂を行った福祉教育副読本「ともに生きる」を、市内の小学

校1年生（559部）、4年生（614部）、及び中学1年生（613部）を対象に配付し、義務教育年代における福祉教育の振興に努めました。

②おおたわら小・中学校福祉教育研究会の開催

市社協では、次代を担う児童・生徒の福祉に対する正しい理解と関心を高めることをねらいとして、福祉教育副読本「ともに生きる」を平成4年から発行しています。令和4年度に「おおたわら小・中学校福祉教育研究会」を開催し、学校教員のほか、地域の方の協力の下、7回目の改訂を行いました。第7回改訂版では、「多様性」をテーマとして地域の様々な方の声を掲載しました。また、児童・生徒が困ったり、悩んだりした時に自分から相談できるように、「相談することは悪いことではない。」ということ伝えていきます。学校現場で活用してもらえるような副読本づくりを目指しました。

令和5年度の新小学1年生・4年生・中学1年生を対象に配付します。

○研究会委員数 36名（市内小・中学校教諭、市教育委員会、地区生涯学習推進協議会・地区社会福祉協議会、民生委員児童委員連絡協議会、ボランティア、福祉施設職員、障がい当事者、保護者、ボランティア、国際医療福祉大等）

○研究会開催回数

- ・全体会（2回）
- ・調整会議（1回）
- ・小学校下学年部会（4回）※3章担当のみ5回
- ・小学校上学年部会（4回）
- ・中学校部会（4回）

○福祉教育副読本「ともに生きる」

- ・小学校1・2・3年生用
- ・小学校4・5・6年生用
- ・中学生用
- ・教師用手引き

③ 学校等の福祉教育（ふくし共育）への支援

児童・生徒が、地域の福祉課題を地域の方と一緒に解決するプロセスから共に学び、共に生きる地域づくりを推進するため、「学校と地域がつながる福祉教育プログラム」への取り組みを支援しました。

小・中学校等での福祉教育の現場へ、地区社会福祉協議会、地区見守り隊（会）をはじめ、障がい当事者の方や社協職員が出向き、児童・生徒に対する福祉教育を支援しました。

また、学校からの相談に応じ、講師との調整や資料提供などコーディネートを行ないました。その際には、子どもたち自身が地域でつながりをもって暮らしていけるよう、地域で「共に生きる力」をつけることを目的に、地域に暮らす障がい当事者や地域福祉活動をしている方と、児童・生徒をつなぐ働きかけを行ないました。その他児童・生徒の相談に応じました。

○学校等への福祉教育支援状況一覧

	実施日	学校名	対象学年	参加者数	協力人数	内容
1	6月20日	市野沢小学校	4	59	5	⑥障がい当事者の方と学ぼう
2	6月23日	野崎中学校	1	48	5	⑤地域で活動する方のお話を聞こう
3	6月23日	黒羽小学校	5	17	3	⑥障がい当事者の方と学ぼう
4	7月4日	湯津上中学校	1.2.3	87	5	⑤地域で活動する方のお話を聞こう
5	7月5日	佐良土小学校	4	5	3	③認知症にやさしい地域を考えよう
6	7月5日	石上小学校	4	14	5	①災害と助け合い ～避難所運営ゲーム～ HUG
7	7月6日	湯津上小学校	4	13	4	⑥障がい当事者の方と学ぼう
8	7月12日	紫塚小学校	5	55	11	①災害と助け合い ～避難所運営ゲーム～ HUG
9	7月14日	大田原小学校	4	115	2	⑥障がい当事者の方と学ぼう
10	8月30日	蛭田小学校	4	11	4	⑥障がい当事者の方と学ぼう
11	9月6日	羽田小学校	5	9	3	③認知症にやさしい地域を考えよう
12	9月7日	親園小学校	4	21	4	⑥障がい当事者の方と学ぼう
13	9月13日	金丸小学校	5	20	6	③認知症にやさしい地域を考えよう
14	9月13日	大田原小学校	4	115	3	⑤地域で活動する方のお話を聞こう
15	9月28日	宇田川小学校	4	12	4	⑥障がい当事者の方と学ぼう
16	9月29日	佐久山小学校	4	12	3	③認知症にやさしい地域を考えよう
17	11月8日	両郷中央小学校	4	16	3	③認知症にやさしい地域を考えよう
18	3月2日	親園中学校	1	56	10	①災害と助け合い ～避難所運営ゲーム～ HUG
合計				685	83	

④大田原ふくし共育ボランティア「グループささえ」支援

「グループささえ」は、大田原市内のふくし共育(福祉教育)を支援する団体として、ふくし共育のねらいである、みんなで支え合える地域づくりのために、地域福祉を進めるとともに、地域活動に子どもを巻き込んで、ともに取り組み、ともに学ぶことをみんなで考えて、みんなで進めることを目的として活動しています。

社協として、偶数月に1回行われる定例会に出席し、ふくし共育支援への協力依頼や、各種研修の案内などを行い、「グループささえ」の活動支援を行いました。

日程	内容	出席人数
4月5日	第9回定期総会	9名
6月6日	○活動報告 会員のボランティア活動紹介	8名
8月1日	○活動報告 会員のボランティア活動紹介	7名
10月3日	○活動報告 会員のボランティア活動紹介	13名

12月5日	○活動報告 会員のボランティア活動紹介	13名
2月6日	○活動報告 会員のボランティア活動紹介	10名

(2) 広報充実事業

① 機関紙「おおたわら社協だより」等の広報活動の推進

機関紙「おおたわら社協だより」を発行、裏表紙をボランティア情報紙「だいすき」として併せて発行しました。

各種事業の周知、理事会・評議員会の動き、ボランティアの紹介や社協の活動内容の紹介、及び地域のみなさんに考えていただく地域の課題等の周知等、紙面の充実に努めました。(年4回市内全戸配布)

また「おおたわらこども社協だより」を発行し、子どもの頃から地域福祉に親しみがもてるよう、また、地域でのつながりの大切さを学び、気づきのきっかけになるような紙面を心掛けて作成、児童・生徒に配布しました。(9月に小・中学校を通じて配布)

② ホームページによる広報活動

インターネット・ホームページ (URL : <https://ohtawara-shakyo.or.jp/>) により、本会の活動状況、イベントの開催、サービス内容等を広報しています。

(3) 社会福祉士養成課程実習生の受入れ

福祉に携わる人材の育成をねらいに、社会福祉士養成課程実習生を受け入れました。実習生への指導やアドバイスを行うことで、社協職員のOJT¹等資質の向上や社協の評価にもつながりました。

①国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科 4名

令和4年7月25日～8月29日(24日間)

②那須看護専門学校 16名

令和4年10月28日、10月31日、11月2日(3日間)

③令和5年度相談援助実習に向けた体験実習生の受入 1名

国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科

令和5年3月13日、3月15日、3月17日(3日間)

II 福祉サービスを利用しやすくするための支援事業

1 総合相談事業の実施

(1) 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援事業の「自立相談支援」を大田原市から受託し、経済的かつ社会

¹ OJT : **On-the-Job Training** (オン・ザ・ジョブ・トレーニング) または現任訓練 (げんにんくんれん) とは、職場で実務をさせることで行う従業員の職業教育のこと。

的孤立の問題を抱える生活上の困難に直面した方に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施するとともに、地域における自立・就労支援等の体制を図れるよう、行政、ハローワーク等の関係機関との連携をとりながら、相談者の困窮からの早期脱却と困窮者を支援する地域づくりを目的に取り組みました。

○相談件数（※令和4年度に新たに受付をした件数です。）

No.	相談内容	件数	No.	相談内容	件数
1	病気や健康、障がいのこと	5件	9	地域との関係について	1件
2	住まいのこと	6件	10	家族関係・人間関係	2件
3	収入・生活費のこと	71件	11	子育て・介護のこと	1件
4	家賃やローンのこと	3件	12	ひきこもり・不登校	1件
5	税金や公共料金のこと	1件	13	DV・虐待	0件
6	債務について	1件	14	食べる物が無い	7件
7	仕事探し、就職について	3件	15	その他	7件
8	仕事上の不安やトラブル	0件		計	109件

○支援実施延べ回数※令和5年3月末現在

No.	相談内容	年間合計
1	電話相談・連絡	178回
2	訪問同行・支援	33回
3	面談	106回
4	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	4回
5	他機関との電話照会・協議	7回
6	その他	5回

(2) 心配ごと相談事業

大田原市からの受託事業として「心配ごと相談事業」を行ないました。市民の日常生活上の心配ごとの相談に応じるため、民生委員・児童委員に相談員を委嘱し、市役所A別館及び社協各支所内に相談所を開設しました。また、随時電話や窓口において生活相談などを受け付けました。

○心配ごと相談開催日

地区	相談日	時間	場 所
大田原	毎週金曜日	9:00～12:00	市役所A別館
湯津上	毎月第1水曜日	13:00～16:00	佐良土多目的交流センター
黒 羽	毎月第3木曜日	9:00～12:00	社協黒羽支所

○心配ごと相談種別ごとの年間利用状況（総件数12件）相談者12名

種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数	種別	件数
生計		職業・生業・就職		家族	3	健康衛生		医療	1	人権・法律	
年金		住宅	1	結婚		離婚	1	事故		財産	3
精神衛生		児童福祉		教育・青少年		心身障害		老人福祉	1	母子福祉	
その他	2	苦情									

(3) 福祉金庫貸付事業

大田原市社会福祉協議会福祉金庫資金貸付事業実施要領に基づき、低所得層に対する生活、医療等の費用の少額資金一時融資を行っています。善意銀行の拠出金を原資に、1借受人あたり2万円又は3万円を限度に貸し付けをする制度として実施しています。

○貸付・償還状況（令和4年度）

前年度末残額 A		1,329,589 円	前年度償還未済額 630,000 円
令和4年度	貸付金額 B	847,000 円	新規貸付件数 45 件
	償還金額 C	701,000 円	償還完了件数 37 件
	不納欠損額 D	0 円	不納欠損件数 0 件
	預金利子 E	12 円	預金利子
	地域福祉事業へ振替 F	0 円	
	残高 G	1,183,601 円	年度繰越 (A-B+C+E-F)

※年度末貸付償還未済額は 776,000円

(4) 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会からの受託事務として、生活福祉資金の貸付・償還事務を行ないました。貸付種類は「総合支援資金」「福祉資金」「教育支援資金」「不動産担保型生活資金」の4種類です。低所得者世帯、失業者、障がい者世帯及び高齢者世帯で、一定の所得基準の範囲内世帯を対象として実施しました。

○貸付・償還状況（令和4年度）

貸付	新規貸付 0件	
償還	償還中 34件	総合支援資金5件 福祉資金（福祉費）3件 緊急小口資金9件 教育支援資金12件 離職者支援資金1件 臨時特例つなぎ資金1件 緊急小口資金(台風特例)1件 療養介護等資金1件 福祉資金（障害者自動車購入費）3件
	償還完了 0件	
	償還不能 1件	緊急小口資金1件（借受人死亡による）
	償還免除 0件	

○生活福祉資金（特別貸付新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により収入の減少があり生活資金でお悩みの世帯に向けた、緊急小口資金等特別貸付を実施しました。尚、本制度の新規申請は令和4年9月末日をもって終了しました。

◆受付件数

生活福祉資金特別貸付（コロナ特例） 各種相談・申請者数（R4.4月～R4.9月）

令和 月	コロナ関係 相談者数		緊急小口資金		総合支援資金		住居確保給付金		生活福祉資金 相談者数	福祉金庫		フードバンク 利用者
	相談数	新規申請	新規申請	(内)追加申請	相談数	新規申請	相談者数	申請者数		相談	貸付	
4月	37	20	6	0	17	8	11	0	4	5	2	11
5月	46	30	13	3	16	8	14	1	7	10	6	13
6月	30	16	9	0	14	9	21	2	6	9	5	7
7月	30	20	14	1	9	5	11	0	7	8	4	9
8月	34	23	15	0	11	8	17	1	3	7	2	16
9月	25	14	12	0	11	9	19	2	3	9	5	12
累計	202	123	69	4	78	47	93	6	30	48	24	68

緊急小口資金 69 件 13,450,000円
 総合支援資金 47 件 24,300,000円

計 37,750,000円（令和4年10月4日現在）

2 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業（あすてらす）

高齢者、障がい者等で判断能力が不十分な方の福祉サービス利用援助や金銭管理支援、書類等預かりを行う日常生活自立支援事業（あすてらす おおたわら）を下記のとおり実施しました。制度の推進を図るため、社協だよりへ掲載し制度のPRに努めました。

○あすてらす利用状況

令和4年度	利用者集	備 考
年度当初	83名	
新規契約	0名	
解約	8名	死亡3名、施設管理3名、移管1名、保佐人管理1名
令和4年度末	75名	

- ・専門員2人・生活支援員 28人（社協職員9人含む）
（内訳：大田原15人、湯津上4人、黒羽9人）

・主な支援内容

福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス（預貯金の出し入れ、福祉サービス利用料等の支払）、書類等預かりサービス（預金通帳や証書等の預かり）、相談

Ⅲ 在宅福祉サービス実施事業～民間事業者の参入しにくい地域への展開～

1 介護保険サービス

(1) 訪問介護事業

介護保険の指定事業所として、要介護認定を受けた利用者にホームヘルパーを派遣し、入浴を含む身体介護や家事の支援を行う事業。また、市の介護予防日常生活支援総合事業の訪問型サービス事業を実施しました。

	令和4年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	15,955,335円	16,653,974円	95.8%
年間延べ利用者数	699人	685人	101%
月平均利用者数	58人	57人	101%
ホームヘルパー数	15人	15人	100%

(2) 受託訪問介護事業の推進

介護保険の対象とならない高齢者等に対しホームヘルパーを派遣する「生活支援ホームヘルプサービス事業」を大田原市から受託し、訪問介護事業を実施しました。

	令和4年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	0円	0円	0

年間延べ利用者数	0人	0人	0
月平均利用者数	0人	0人	0

2 障害福祉サービス

(1) 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法と児童福祉法に基づく在宅サービス事業及び大田原市地域生活支援事業を受託し、ホームヘルパーを派遣しました。

○障害福祉サービス（居宅介護）

	令和4年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	11,815,517円	11,092,262円	106.5%
年間延べ利用者数	274人	281人	97.5%
月平均利用者数	22.8人	23.4人	97.4%

○同行援護サービス

	令和4年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	847,496円	848,293円	99.9%
年間延べ利用者数	52人	51人	101%
月平均利用者数	4.3人	4.25人	101%

○移動支援

	令和4年度実績	前年度実績	前年比
年間報酬額	232,700円	125,500円	185%
年間延べ利用者数	11人	7人	157%
月平均利用者数	0.91人	0.58人	156%

3 その他のサービス

(1) 日常生活用具貸与事業

在宅の寝たきり高齢者及び重度の障がい者等に対して、日常生活用具を貸与することにより、福祉の増進を図ることを目的に、車椅子などを無償貸与しました。

○車いす貸与状況

	貸出件数	保有台数
本所	82件	32台
湯湯津上支所	5件	3台
黒羽支所	38件	11台
計	125件	46台

(2) リフト付き自動車貸出事業

車いすを使用していて公共交通機関の利用が困難な市内在住の在宅者の方に対して、在宅福祉の向上を図るために、車いす用リフト付き自動車を無料で貸出を行ないました。

○リフト付き自動車貸出件数 89回

(3) 軽トラック貸出事業

ボランティア活動・生活困窮者支援、その他地域福祉活動をする時に、物資輸送の援助として軽トラックの貸出を行ないました。

○軽トラック貸出件数 5回

(4) 福祉サービス適正化事業

事業所ごとに苦情解決責任者を設け苦情解決を図りました。また3名の委員による第三者委員会を設置しています。

(5) 大田原市介護支援ボランティアポイント制度

介護予防のためのボランティア活動「いきいき活動」を通じて、65歳以上の方の社会参加と介護予防の推進を図り、健康でいきいきとした地域社会づくりを推進することを目的に、大田原市介護保険制度の地域支援事業として市から事業を受託しました。

○与一いきいきメイト養成講座

期 間 令和4年7月7日～11月10日（8回）

受講者数 13名

○与一いきいきメイト登録者 112名

○いきいき活動受入施設 ほほえみセンター等 25箇所

○与一いきいきメイトフォローアップ研修

日 時 令和4年11月1日 午後1時30分～3時30分

場 所 大田原市役所 101・102会議室

参加者 与一いきいきメイト 20名

内 容

・認知機能検査の一部を体験しよう

- ・認知症に関するアンケート
- ・他己紹介「私のいきいき活動」について

講師 国際医療福祉大学保健医療学部理学療法学科 石坂 正大氏

IV 法人の基盤強化事業

1 福祉のまちづくり市民参加運営事業

(1) 理事会・評議員会の開催

理事会

第1回理事会（書面決議）

1 決議の日：令和4年4月1日（金）

報告

報告第1号 決議に係る利害関係の確認の報告について

報告第2号 理事会の招集手続きを省略して開催することの同意

議案

議案第1号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会常務理事の選任について

第2回理事会（書面決議）

1 決議の日：令和4年4月20日（水）

報告

報告第1号 決議に関わる利害関係の確認の報告について

報告第2号 理事会の招集手続きを省略して開催することの同意

議案

議案第2号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会令和4年度第1回評議員会の開催について

第3回理事会

1 開催日時：令和4年5月27日（金）午後1時30分～3時30分

2 会場：大田原市役所301・302会議室

報告

報告第3号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の務執状況報告について

報告第4号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

議案

議案第3号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会理事長（会長）の選任について

議案第4号 令和3年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第3号）について

議案第5号 令和3年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の承認について

議案第6号 令和3年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算報告の承認について

=監査報告=

議案第7号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長表彰について

議案第8号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第2回評議員会の開催について

議案第9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について

議案第10号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

議案第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について

第4回理事会

1 開催日時：令和4年12月16日（金）午後1時30分～3時15分

2 会場：大田原市生涯学習センター研修室D

報告

報告第5号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第6号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会会長並びに常務理事の職務執行状況報告について

報告第7号 大田原市社会福祉協議会障害福祉サービス事業所運営規程の一部改正について（専決事項）

報告第8号 大田原市社会福祉協議会職員のハラスメントの防止に関する要綱の制定について（専決事項）

報告第9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について（専決事項）

報告第10号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第1号）について（専決事項）

報告第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部改正について（専決事項）

議案

議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について

議案第13号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について

議案第14号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会福祉サービスにおける苦情解決に関する規程の一部改正について

議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員人事評価の実施に関する要綱の一部改正について

議案第16号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算（第2号）について

議案第17号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行配分払い出しの実施について

議案第18号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会福祉サービスにおける苦情解決に関する第三者委員の承認について

議案第19号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第3回評議員会の開催について

議案第20号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について

議案第21号 令和4年度第2回評議員選任解任委員会の開催について

第5回理事会

1 開催日時：令和5年3月10日（金）午後1時30分～2時40分

2 会場：大田原市役所301、301会議室

報告

報告12号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

議案

議案第22号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第23号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第24号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

議案第25号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会第4回評議員会の開催について

評議員会

第1回評議員会（書面決議）

1 決議の日：令和4年4月28日（木）

報告

報告第1号 決議に関わる利害関係の確認の報告について

報告第2号 理事会の招集手続きを省略して評議員会を開催することの同意

議案

議案第1号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会理事の選任について

第2回評議員会

1 開催日時：令和4年6月14日（火）午後3時00分～4時15分

2 会場：大田原市役所310、302会議室

報告

報告第3号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

報告第4号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会理事長（会長）の選任について

報告 第5号 令和4年度社会福祉法人大田原市伊社会福祉協議会会長表彰
について

議案

議案 第2号 令和3年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算
(第3号) について

議案 第3号 令和3年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業報告の
承認について

議案 第4号 令和3年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支決算報
告の承認について

議案 第5号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会理事の選任について

第3回評議員会

1 開催日時：令和4年12月26日(月)午後1時30分～3時00分

2 会場：大田原市役所301、302会議室

報告

報告 第6号 決議事項に関わる利害関係の報告について

報告 第7号 大田原市社会福祉協議会障害福祉サービス事業所運営規程の
一部改正について(専決事項)

報告 第8号 大田原市社会福祉協議会職員のハラスメントの防止に関する
要綱の制定について(専決事項)

報告 第9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員給与規定の一部改
正について(専決事項)

報告第10号 令和4年度社会福祉法人大田原市者期福祉協議会補正予算
(第1号) について(専決事項)

報告第11号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ヘルパー事業運営
要綱の一部改正について(専決事項)

議案

議案 第6号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会定款施行細則の一部改
正について

議案 第7号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会役員報酬及び費用弁償
に関する規程の一部改正について

議案 第8号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会福祉サービスにおける
苦情解決に関する規程の一部改正について

議案 第9号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会職員人事評価の実施に
関する要綱の一部改正について

議案第10号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会補正予算
(第2号) について

議案第11号 令和4年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会善意銀行配
分払い出しの実施について

第4回評議員会

1 開催日時：令和5年3月24日（金）午後1時30分～3時00分

2 会場：大田原市役所301、302会議室

報告

報告第12号 決議事項に関わる利害関係の確認の報告について

議案

議案第12号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会登録ホームヘルパー事業運営要綱の一部を改正する要綱の制定について

議案第13号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会事業計画（案）について

議案第14号 令和5年度社会福祉法人大田原市社会福祉協議会収支予算（案）について

議案第15号 社会福祉法人大田原市社会福祉協議会理事の選任について

(2) 会員加入の推進

社会福祉への理解と協力を求め、普通会员、特別会員、賛助会員の加入促進に努めました。

○会員加入の状況（令和4年度）

会費の種類	会費1口	会員数	会費納入額	前年比	前年
普通会员	500円	15,574件	7,787,140円	99.5%	7,821,250円
特別会費	1,000円	633件	994,000円	100.6%	988,000円
賛助会費	5,000円	26施設	130,000円	100.0%	130,000円
計			8,911,140円	99.6%	8,939,250円

2 社会福祉法人連絡会

平成30年10月から大田原市内の14社会福祉法人の参加で、法人本来の事業に加えて、地域のための公益活動を進めています。

(1) 社会福祉法人連絡会の主な活動内容

① 設備、備品の貸出

法人の施設設備、備品を活用するため、地域の皆様に貸し出します。

② 地域出前講座講師派遣

法人の職員が、地域の講座や研修に出向きます。

③ ふくし総合相談

法人の業務範囲に留まらず、地域の皆様からの相談に幅広く対応します。

④ 広報活動

サポートガイド、広報紙の発行

- ⑤ 生活支援体制整備事業
第2層協議体委員として、市内12地区の協議体へ参加しています。
- ⑥ ふくし共育研究会
福祉教育副読本の改定編集に参加しました。
- ⑦ 地域福祉計画・地域福祉活動計画
第4次計画に係る住民懇談会へ参加しました。

(2) 社会福祉法人連絡会の参加法人

- (福) あいのかわ福祉会 (那須共育学園 他)
- (福) あんねい 安寧 (山百合荘 他)
- (福) エルム福祉会 (エルムの園、SELPみなと、ヒカリノカフェ 他)
- (福) けんしんかい 謙心会 (にちにちそう 他)
- (福) ここみかい 心美会 (保育園 ベビーエンゼル)
- (福) しせいかい 至誠会 (晴風園、みどりの郷)
- (福) せんごまかい 千駒会 (おおたわら保育園)
- (福) しょうゆうかい 章佑会 (やすらぎの里、若草園 他)
- (福) ひかり会 (ひかりのぎき保育園、ひかりうすば保育園)
- (福) フレンズ会 (保育園チャイルド)
- (福) ほうゆうかい 邦友会 (風花苑 他)
- (福) まどひ 窓の陽 (ふるさとホーム那須、那須愛恵苑 他)
- (福) どうあいかい 同愛会 (四季の風、かねだの里 他)
- (福) 大田原市社会福祉協議会

3 基金・寄付事業

(1) 善意銀行運営事業

社会福祉のために役立つようにと市民等から寄せられた金品等の善意の寄付を有効利用できるよう、適正な善意銀行の運営に努めました。

令和4年度 預託の状況

①金銭預託

金銭預託	収入の部	科目	金額	預託者(敬称略)
		前年度繰越金	4,081,498円	
預託金額		2,000円	匿名(ギフトカード)	
		1,000円	匿名	
預金利息	40円			
合計	4,084,538円			

支出の部	科目	金額	配分先
	配分金額	107,000 円	市ボランティア連絡協議会
		33,000 円	大田原市いきいきクラブ
		78,000 円	市身体障害者福祉会
		33,000 円	市障がい児者等保護者会
	合計	251,000 円	
収入支出差引残高	3,833,538 円		

② 物品預託

	寄付者氏名(敬称略)	預託物品		用途
1	親園中学校	学用品(テキスト、筆記用具、ノート等)	4 箱	子ども食堂へ配布
2	日本ビューホテル事業(株)	巾着	6,000 枚	利用者、施設等へ配布
3	株式会社ダイナム栃木大田原店	食料品	119 点	生活困窮者世帯等へ配布
4	連合栃木那須地域協議会	タオル	100 本	福祉施設、保育園等へ配布
5	キャノンメディカルシステムズ労働組合	タオル	50 本	福祉施設、保育園等へ配布
6	匿名	車いす	1 台	貸出用として使用
7	ホテルブランヴェール那須	マスク	10,200 枚	福祉施設等へ配布
8	栃木県退職公務員連盟那須北支部	タオル	668 本	福祉施設、保育園等へ配布
9	匿名	紙オムツ	2 箱	社協黒羽支所にて保管 (事業係で使用)
		尿取りパット	1 袋	
10	キャノンメディカルシステムズ労働組合	食料品	3 箱	福祉施設、保育園等へ配布
11	匿名	紙オムツ	3 袋	社協黒羽支所にて保管 (黒羽支所にて使用)
12	株式会社ダイナム栃木大田原店	食料品	101 点	生活困窮者世帯等へ配布
		日用品	6 点	
13	匿名	タオル	100 本	福祉施設、保育園等へ配布
		文房具	4 箱	子ども食堂へ配布
14	野田新聞店(有)ノダネットワークサービス	車いす	1 台	貸出用として使用

15	匿名	タオル、手ぬぐい	100本	福祉施設、保育園等へ配布
16	株式会社カナメ那須工場	カレンダー	30本	相談者、利用者へ配布
17	関野徹、博美	将棋セット	1セット	地域団体へ寄贈
18	(株)エツリン	電気こたつ	1台	生活困窮者世帯等へ配布
19	匿名	タオル	132本	福祉施設、保育園等へ配布予定
20	大田原ライオンズクラブ	マスク	3,000枚	福祉施設、保育園等へ配布

(2) 大田原市社会福祉協議会寄附

大田原市の地域福祉推進のため、市民等から寄せられた寄付を事業費として適正に運用しました。

敬称略

No.	寄付者氏名	寄付金額	令和4年度累計
1	関東西濃運輸労働組合大田原分会	70,000円	70,000円
2	大田原市民大学同窓会	100,359円	170,359円
3	大田原市建設業協同組合	20,000円	190,359円
4	大田原市グラウンド・ゴルフ協会	63,000円	253,359円
5	連合栃木那須地域協議会	15,000円	268,359円
6	天狗王国ゆづかみ 唄・踊り保存会	42,651円	311,010円
7	矢吹 良作	100,000円	411,010円
8	ゴルフのまちづくり実行委員会	1,075円	412,085円
9	黒羽陶遊会	7,000円	419,085円
10	栃木県大衆音楽家協会栃木県北支部	20,000円	439,085円
11	(匿名)	2,300円	441,385円
12	(匿名)	1,000円	442,385円
13	人見会	3,606円	445,991円
14	新泉 洋子	10,000円	455,991円
15	(匿名)	1,000円	456,991円
16	黒羽商工会女性部	6,934円	463,925円
17	那須野ヶ原青年会議所	120,000円	583,925円
18	大田原グラウンド・ゴルフ友の会	5,400円	589,325円
19	栃木県大衆音楽家協会栃木県北支部	20,000円	609,325円
20	大田原市くらしの会	2,000円	611,325円
21	寒井北部自治会見守り隊	8,377円	619,702円
22	大田原市文化協会ステージ部 花柳喜乃治	45,000円	664,702円

23	那須スポーツパークグラウンド・ゴルフホールインワン基金	110,000 円	774,702 円
24	(匿名)	20,000 円	794,702 円
25	(匿名)	20,000 円	814,702 円
26	スターライト友の会	8,054 円	822,756 円
27	(匿名)	3,000 円	825,756 円
28	(匿名)	100,000 円	925,756 円
29	(匿名)	10,000 円	935,756 円
30	(匿名)	1,000 円	936,756 円
31	黒羽商工会青年部	60,000 円	996,756 円
32	カラオケスタジオーちゃん	20,000 円	1,016,756 円
33	ライオンズクラブ 4R2Z・ZC	20,000 円	1,036,756 円
34	令和4年度なでしこ幼稚園卒園児保護者一同	2,764 円	1,039,520 円
35	大田原生活学校	20,000 円	1,059,520 円
36	(匿名)	6,745 円	1,066,265 円

(3) 地域福祉基金造成事業

大田原市における地域福祉の増進に役立てるため「地域福祉基金（ぎんなん基金）」を設け、寄附、利息等による基金の運用を行っています。

○ 基金運用状況

科目	金額	摘要	
前年度末基金原資残高 ①	182,352,695 円		
令和4年度 寄付金額 ②	120,000 円	日本基督教団西那須野教会	10,000 円
		日本基督教団西那須野教会	10,000 円
		関東西濃運輸労働組合 大田原分会	100,000 円
預金利息 等 ③	644,322 円	国債、公債利息	374,000 円
		定期預金利息	270,160 円
		普通預金利息	162 円
区分間繰入金支出 ④	5,644,218 円	令和4年度原資取崩額	5,000,000 円
		預金利息分繰出	644,218 円
本年度末基金原資残高 ①+②+③-④	177,472,799 円		

(4) 赤い羽根共同募金事業

社会福祉法人栃木県共同募金会大田原市支会として、10月1日から12月28日までの期間、募金活動を行ないました。令和4年8月26日に市支会委員会を開催し、募金運動に対する取り組み方針、募金配分先を協議しました。

○令和4年度共同募金実績一覧

(単位：円)

募金種別	件数	募金実績額	目標額	差引額	達成率
戸別募金	15,813件	5,535,295円	5,450,000	85,295	101.6%
特別募金	1,122件	2,914,344円	2,686,000	228,344	108.5%
学校募金	44件	425,004円	489,000	-63,996	86.9%
街頭募金	58件	426,683円	215,000	211,683	198.5%
職域募金	100件	576,912円	545,000	31,912	105.9%
イベント募金等	37件	234,446円	245,000	-10,554	95.7%
合計	17,174件	10,112,684円	9,630,000	482,684	105.0%

令和4年度募金からの配分：令和5年度の配分予定は6,708,684円

○共同募金配分金事業

令和4年度は実績に応じて、県共同募金会からB募金配分6,825,471円が大田原市社協に配分されました。

○「おおたわらを良くするしくみ」応援助成事業

共同募金の助成を通じ、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の新たな課題を発見し、問題解決をしようとしている福祉活動を応援すること、また、助成による活動の成果を発信することで、共同募金の使いみちの透明性を図り、共同募金への理解を深めることを目的として実施しました。

審査委員会

令和5年1月30日（月）審査会を実施しました。

☆助成対象（助成は令和5年度に実施します。）

No.	団体名	申請事業	申請金額
1	加治屋元気クラブ	地域の居場所づくり	50,000円
2	より愛ひろば	ささえあいサロン活動	50,000円

3	カラオケ会	高齢者のための『居場所活動』	50,000円
4	PPKKの会	高齢者の居場所活動	50,000円
5	言ノ葉喫茶	居場所づくり活動	50,000円
6	野崎ニュータウンふれあい・ミニサロン	ふれあい・ミニサロン	50,000円
7	薄葉団地お茶ラカ会	薄葉団地お茶ラカ会	50,000円
8	寿会	施設訪問、地域催し物ボランティア	35,000円
9	おひさまの会	佐良土小学校での読み聞かせ活動、行事参加	50,000円
10	ジャガイモ仲間の会	野菜直売	50,000円

令和4年度に事業に取り組んだ団体

No.	団体名	申請事業	助成金額
1	加治屋元気クラブ	地域の居場所づくり	35,000円
2	より愛ひろば	ささえあいサロン活動	35,000円
3	カラオケ会	高齢者のための『居場所活動』	35,000円
4	PPKKの会	高齢者の居場所活動	35,000円
5	言ノ葉喫茶	居場所づくり活動	35,000円
6	野崎ニュータウンふれあい・ミニサロン	ふれあい・ミニサロン	35,000円
7	薄葉団地お茶ラカ会	薄葉団地お茶ラカ会	35,000円
8	寿会	施設訪問 地域催し物ボランティア	35,000円
9	おひさまの会	佐良土小学校での読み聞かせ活動、行事参加	35,000円

4 その他

(1) 被表彰者について

(敬称略)

◎栃木県社会福祉協議会会長表彰

令和4年8月22日(月)第28回栃木県民福祉のつどい

社会福祉法人・社会福祉施設・社会福祉団体関係功労者

特別養護老人ホーム晴風園ホームヘルプサービス 青木 陽子

特別養護老人ホーム晴風園 永井 祐希
特別養護老人ホーム晴風園（地域密着型） 富田 京子
特別養護老人ホーム晴風園みどりの郷 渡部 直人
優良施設、団体等表彰
大田原市ボランティア連絡協議会黒羽支部

◎栃木県知事表彰

令和4年8月22日（月）第28回栃木県民福祉のつどい
ボランティア功労

藤田 三夫
大田原西部地区社会福祉協議会
金田地区社会福祉協議会
共同募金運動協力団体又は協力者

筒井 雅治、佐藤 富夫

◎全国社会福祉協議会会長表彰

令和4年12月13日（火）令和4年度全国社会福祉大会
永年勤続功労

大場 いつみ

◎栃木県共同募金会会長表彰

令和4年8月22日（月）第28回栃木県民福祉のつどい
佐藤 昌俊、小倉 喜之、渡邊 伸一、木村 繁美
松田 民司、紙本 一富、鈴木 義一

◎大田原市社会福祉協議会会長表彰

令和4年10月24日（月）

蜂巢 貞美、徳原 弘美、藤田 久子、朝野 直子、本堂 敏雄
藤沼 久子、大宮司 肇、小西 久美子、諏訪 嘉彦

